

認知症の人への対応

認知症の人の対応心得 “3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない



具体的な対応7つのポイント

① まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人や他の人に気づかれないように一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。

② 余裕を持って対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手に伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

③ 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけます。

④ 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで、声をかけます。唐突な声かけは禁物です。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいました？」など。

⑤ 相手に目線を合わせてやさしい口調で

小柄な方の場合は、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。

⑥ おだやかに、はっきりした話し方で

高齢者は、耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくり、はっきりと話すように心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言で、コミュニケーションをとることも大切です。

⑦ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急がされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測、確認していきます。